

## 「魚類観察会」(令和元年7月7日開催)

本日の観察会は12組の参加があり、人数は大人15人、子ども18人の計33人でした。

観察会は、田原交流センター西側の桶ヶ谷川へ集合し、初めに講師の野澤利治さん(魚類研究者)から水生生物の捕り方(たも網を動かして捕まえるのではなく、固定しておいて足で追い込む。)などの説明がありました。その後、桶ヶ谷川に入り、10時15分から約1時間観察・採集を行いました。

### 1 採集の様子

天候が心配されましたが、雨は降らず陽も照らず観察には適した日となりました。親子で参加したグループがほとんどであり、みんな楽しみながら川に入り、観察・採集をしました。

数日前から雨の日が続き、川の水量が多く濁っていたため、採集できた水生生物の個体数は昨年よりも減りましたが、種類はたくさん集まりました。

### 2 採集した水生生物の分類

みんなで採集した水生生物は1カ所に集められ、講師が分類し、種類ごとにバットに入れました。

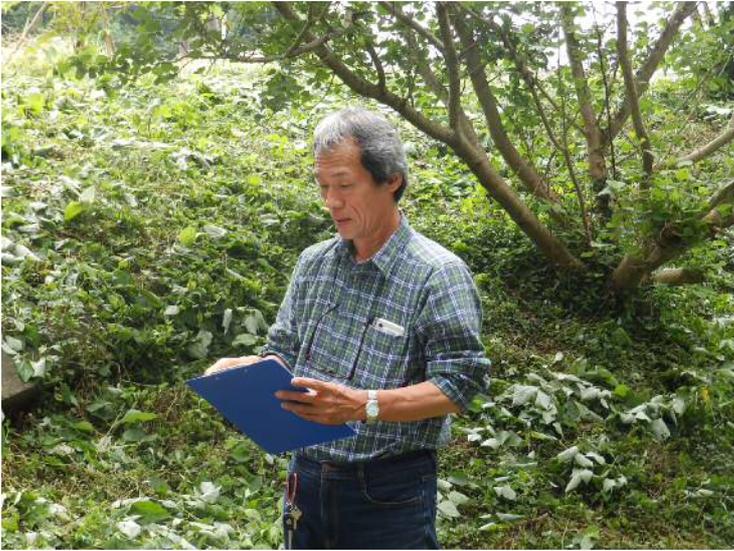
### 3 観察と説明

分類した水生生物は種類ごとに透明のケースに移し、みんなで回して観察をしながら講師の説明を聴きました。

#### ○観察した水生生物

ナマズ、スジエビ、アメリカザリガニ、ミナミヌマエビ、ミナミメダカ、アマガエル、トノサマガエル、ヌマガエル、モクズガニ、タイリクバラタナゴ、ヌマガイ、ブルーギル、コクチバス、フナ、ドジョウ、ヌマチチブ、クサガメ、ミシシippアカミミガメ、クチボソ(モツゴ)

## 1 事前説明



## 2 採集の風景



## 3 採集した水生生物の分類



#### 4 採集した水生生物の観察と説明

